

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	協同組合の発展を通じた女性のエンパワメント
(2) 事業の必要性（背景）	(イ) アジアの最貧国の一つとされるバングラデシュでは、未だ人口の30%以上が貧困ライン以下の生活をしている。とくに農村部では、電気などのインフラも整わず、多くの人々が慢性的な貧困にあえいでいる。宗教的・文化的背景から、女性に関しては村での就労の場はさらに限定されており、女性の置かれている立場は経済的にも社会的にも低い。貧困と女性の地位の低さから女性に対しての教育も十分提供されておらず、このことは、人口の半分の能力開発が十分になされていないことを意味している。貧困の緩和に向けても女性のエンパワメントは焦眉の急となっている。 (ロ) 当団体は2007年のサイクロン「シドル」の緊急支援として、ビロジプール県内5村において支援を開始した。その後、緊急支援期が終了するにあたり、2008年より、NGO連携無償資金の支援を得て、同5村において3年にわたり、青少年の育成事業を行ってきた。当初はサイクロンの影響を受けた青少年の心理社会的ケアを中心に、非公式教育提供事業を行ってきたが、その後、変遷する現地ニーズに合わせ、微調整を加えつつ、3年目には、非公式教育と並行して、女性に対する職業訓練と協同組合の設立を中心に、その利益をもって、自身の子どもたちを公立学校へ送り出せるだけの収入を得ることを目的とした活動を実施した。 当該事業により、裨益女性たちは刺繍・縫製・機織りの技術を習得した他、協同組合の形成により、職業訓練を修了した女性たちの経済活動は、以前に比べ飛躍的に組織的になっている。しかしながら、協同組合活動から出た収益で、例えば、さらなる技術向上のための研修を持つなど組合の自立発展を実現してゆくことが出来るレベルには至っていない。協同組合員の技術レベル、意欲・結束は高く、当団体の支援により、小規模であるが日本より製品に対しての注文もあることから、組織運営能力、商品開発や販路の拡大といったビジネススキルを強化することにより、今後、組合が独自の力で運営・発展してゆく潜在的可能性を有している。また、協同組合の強化・発展は、中・長期的には村全体の生活の底上げの一助となることが期待できる。
(3) 事業内容	本申請事業では、2村（ラクシュマンカティ村及びシハンガル村）にて協同組合を新たに立ち上げるとともに、3村（カマルカティ村、ジャラバリ村及びアシュア村）の既存の協同組合のさらなる強化をおこなう。並行して、これら3村から新規立ち上げ2村へ、協同組合の立ち上げに関する知識の移転を図る。（カマルカティ村、ジャラバリ村、アシュア村及びラクシュマンカティ村に関しては縫製を、シハンガル村は機織りを展開予定）。具体的には以下の活動を実施する。なお、活動に関しては、現地提携団体である Society for Underprivileged Family (SUF) と連携し、そのネットワークを活用しつつ実施する。SUF はダッカを含め、幅広いネットワークを有している。 <u>イ) 協同組合の運営・立ち上げ</u> 既に協同組合のある3村（カマルカティ村、ジャラバリ村及びアシュア村）の運営に加え、2村（ラクシュマンカティ村、シハンガル村）において新たに協同組合を立ち上げる。ラクシュマンカティ村では協同組合の萌芽がみられること、シハンガル村は、機織りの職業訓練により女性の多くが機織りの技術を有しており、製品の需要も定期的に見込まれる

ことから、この 2 村において協同組合の設立を支援する。また、この 2 村が加わることにより、他村の協同組合が持つ刺繍・縫製技術との連携が実現し、より幅広い商品展開が可能となる。技術監督担当の下、5 名のインストラクターが 5 村の協同組合の組合員に対し、デザイン指導や技術指導などを行う。

ロ) 協同組合員の能力強化

5 村（ラクシュマンカティ村、シハンガル村、カマルカティ村、ジャラバリ村、アシュア村）の協同組合において、さらなる収入向上を図ると同時に、新規 2 村への経験移譲を図るため、具体的に次の活動を行う。

【ショールームの運営】

すでにショールームのある 3 村（カマルカティ村、ジャラバリ村、アシュア村）において協同組合の活動を促進・拡大させることを目的に、組合員が製作した商品を販売できるショールームを運営する。ショールームに来訪する顧客の意見を参考に、既存の製品の改善ポイントを洗い出すとともに新製品の開発を行うことで、組合員の技術の向上を図る。同時に顧客の反応を直接目にする機会が、組合員のモチベーションの維持につながる。ショールームの運営は組合員がシフト制で担当し、販売や接客の実地経験を積むことができるよう促す。これにより、後述のトレーニングで学ぶ品質管理や、2 年目以降研修を予定しているマーケットリサーチなどの理論を実践に移す機会を設け、ビジネススキルとマインドを高めていく。

【ノウハウの普及を目的としたワークショップの開催】

3 村の協同組合のこれまでの経験談、失敗談などを踏まえたノウハウを文書化し、ワークショップを通じて新たに立ち上げる 2 村の協同組合へ知識の移譲を行う。

～以下の活動は前述 2 村の協同組合が立ち上がった後に実施～

【リーダーの育成を通じた組合運営能力の強化】

各協同組合から 2 名、5 村計 10 名のリーダーを選出し、より組織だった組合の運営や意思決定を行えるように育成していく。ダッカより専門家を招へいし、管理能力やモニタリングスキルなどのワークショップを年 4 回開催し、リーダー 10 名の組織運営能力の向上を図る。また、文化的に男性の参画が重要となることから、村長を中心とした有力者グループ（コミュニティ・ウォッチ・グループ：CWG）の推挙を得て、村の男性を一人アドバイザーに立て、必要に応じサポートを受けられる体制を築く。これにより、事業の効率性を図ることができるとともに、村民の組合活動に対する支援とオーナーシップを高める。また、協同組合は月に一度の定例会議を持ち、運営に関わる様々な事項について協議決定する。

【スキルアップトレーニングの提供】

選出したリーダーを対象に、ダッカより専門家を招へいし、組合に欠けているビジネスマインドの育成や、在庫管理、原価計算などのビジネス講座を年 6 回行う。その後、リーダーが各村の他の組合員へフィードバックする形をとる。習熟度は半期ごとの試験により確認する。同時に、製品の商品価値の向上をめざし、各協同組合から 10 名、計 50 名を対象に年 4 回、ダッカより専門家を招へいし商品の品質管理や商品開発のトレーニングを開催する。また、機織り活動を行なっているシハンガル協同組合員 10 名に対し年 2 回ダッカより、インストラクター各村 1 名計 5 名に対し年 2 回ダッカ（または日本）より専門家を招へいし、

	さらに高度な技術を身に付けられるように技術向上訓練を実施する。 <u>二）啓発活動</u> バングラデシュの農村部では、CWG の社会的影響力が強い。そのため、彼らより協同組合運営への理解と協力を得ることは、長期的な組合の運営にとって重要である。よって、年 2 回ダッカから専門の講師を招へいし、CWG のメンバー（各村 10 名）を対象として協同組合の有効性、女性のエンパワメントなどのワークショップを行う。また、この活動は、近隣の NGO や地方行政府などへも積極的に呼び掛け、組合に対する賛同を呼び掛ける。
（４）持続発展性	本事業では、各村の協同組合において、リーダー格となる組合員を選出し、彼らに対し、協同組合を運営していくために必要なビジネス知識、スキルを提供していく。また、村からのアドバイザーに男性を一人立てることで、イスラム文化圏の中で女性が直面するであろう困難の回避を図る。同時に、CWG などの村の有力者を対象に啓発活動を行い、協同組合に対する村民の支援を取り付ける。これにより、村民自らが最終的に事業を運営していくことを目指す。現地提携団体は引き続き、事業地において村民の活動をサポートする体制をとる。
（５）期待される成果と成果を測る指標	<u>直接裨益者</u>：5 村の協同組合員約 130 人、5 村の CWG メンバー 50 人 <u>間接裨益者</u>：5 村の協同組合員の家族約 520 人 <u>（イ）協同組合の能力強化</u> 5 村の協同組合員（約 130 人）の能力が、組織運営及び個人的技術という両側面で向上される。具体的には、協同組合が設立されることにより、役割分担を行うなど、生産活動において、効率性が増すことが期待されるほか、相互扶助の精神に基づき、全体としてのスキルアップや、利益・機会の均等配分も行えるようになる。各組合にリーダーが育成されることにより、より良い組織運営と体系立った意思決定がなされるようになる。また、トレーニングを通じて、さらなる製品の質の向上や、よりよい商品の開発が可能となる。 <u>（ロ）女性のエンパワメント</u> 協同組合への参画を促すことで、村の女性が現金収入の機会を得られるため、家庭内における自身の立場を向上させることができる。また、顧客の開拓に関わる等、これまで経済活動を制限されていた女性の社会進出の促進につながることを期待できる。また、原価計算を学ぶにあたり、識字力を向上させるなど、女性の能力向上が図られる。 【指標】 ● 立ち上がった新規の協同組合の数：2 組 ● 育成されたリーダー数：各村 2 名、計 10 名 ● 原価計算を行えるようになった組合員：組合員の 5 割 ● 在庫管理を行えるようになった組合員：組合員の 5 割 ● 技術レベルが上がった組合員：組合員の 8 割 ● 現金収入が 40%向上する組合員：組合員の 5 割 ● 協同組合の活動への理解が深まった村民：各村の CWG メンバー 8 割 ● 女性エンパワメントの重要性に関しての理解が深まった村民：各村の CWG メンバー 8 割 【指標の入手方法】 レポート、試験結果、出来上がった作品、アンケート、聞き取り